

注1: 発表者の生年を御記入下さい。1965年1月1日以降生れで、一般発表発表者は学術奨励賞の審査対象となります。未記入の場合には審査対象外となります。

注2: 論文枚数は4頁までです。(CD-ROM原稿はこの限りではありません。)

注3: 別刷り代金は、50部あたり4000円となります。(100部8000円、150部12000円)

注4: 会場で用意するビデオフォーマットは VHS (標準モード) を標準とします。
マルチメディアプロジェクターを利用される方は、VGA 対応のパソコン等をお持ち下さい。
プロジェクターとの接続ケーブルは当方で用意いたします。

注5: CD-ROM には著者がPDF化した原稿およびプレーンテキストをそのまま掲載します。
PDF化にはMS-Word、一太郎、PageMaker6.5、LaTexからの変換サポートも致します。
併せて希望者にはHTML原稿も掲載致します。その場合の容量は御希望に添えない場合もございます。
詳しい作成方法は原稿執筆の手引き送付の際にお知らせいたします。

申込書記入の注意

発表題目: 標準を20文字、サブタイトルを含め記入をお願いいたします。
長い場合、サブタイトルはプログラムなどから割愛する。

名前: 発表者・著者名(所属)は全体で80文字以下になるようにする。
著者企業名及び大学名はよく通用されている略称を使用する。
(例: 東芝、日立、NEC、松下電工、松下電産、京大、東大)
紛らわしい場合以外、(株)、国立、省、付属などは省略する。
同一所属の連名はできるだけまとめて記載する。

Author(s): Taro Kyoto のようにFirst Family の順とする。
Affiliation: 所属企業の英文名は、通称がある場合これを利用する。
(例: IBM, MELCO, NEC, NTT, RICOH, SONY, TOSHIBA, TEPCO etc.)

*必要な場合は以下の省略法を採用する。

F-Engg: Faculty of Engineering
F-Sci: Faculty of Science
Ins-Tech: Institute of Technology
-U: University
RDC: Research & Development Center
RL: Research Laboratory
U-: The University of

該当する項目を選択、記入をお願いいたします。
プログラム構成は提出いただいた概要に基づいてプログラム委員会で決定いたします。
選択いただいた項目のご希望に沿えない場合もありますのでご了承ください。

本年のシンポジウムではCD-ROMの作成を予定しております。
CD-ROMを含む一切の著作権は学会に帰属します。
ご理解とご協力をお願いいたします。詳細は採択決定後お知らせします。

問合せ先: (2001年7月31日まで)

ヒューマンインタフェース学会事務局
〒606-8311 京都市左京区吉田神楽岡町148
Tel & Fax : 075-771-3975
<http://www.his.gr.jp/his2001/>
E-mail : symp@his.gr.jp

(2001年8月以降)

ヒューマンインタフェース学会事務局
〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町1番地 KRP6号館 304号室
<http://www.his.gr.jp/his2001/>
E-mail : symp@his.gr.jp